

セルフ機器 陣容を強化

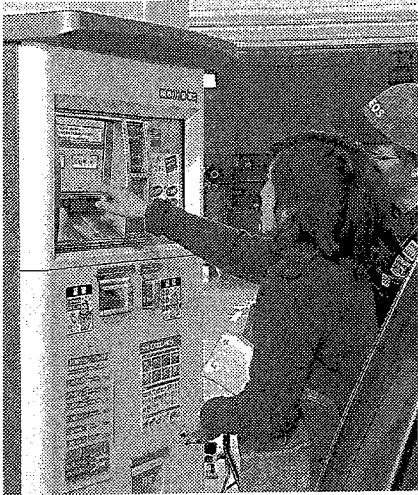
カラー操作盤でコモタ指定

新日石

新日本石油は十一日、全国の支店にERIX-POS連動のコモタ製セルフSSS向け新外設端末機「ERIX-Delight」(エリックス・デライト)の指定通知を発送した。新日石系POSは従来四社指定ながら、カラー操作盤提供メーカーはシャープのみ。しかし今回のコモタ製品の指定で、新日石系でのセルフ機器選択の幅が広がった。ERIX-Delightは、業界標準外設端末機とエガオンマッチ(両面型自動釣り銭機)の組み合わせ、BNA(紙幣読み取り装置)プラス精算機方式の二タイプを用意。

北海道と東京で実稼働

新日本石油は十一月中旬でセルフSSSのオープン旬から札幌市内で、十二月に合わせて「ERIX-Delight」の各種状況を受けて指定に踏み切った。



ERIX-Delightを操作する給油客 (東京多摩地区で)

給油オーナー用操作盤のカラー化は、二〇〇二年のコスモが最先発で、九石、キタナス、出光、EM、昭シ、忠エネ、三井系などと続いた。セルフが珍しい時代は出店するだけで、ガソリン販売量を三〜四倍にも増やせた。しかしセルフが林立する現在、分かりやすく、使いやすく、清

潔感ある機器導入の有無が「セルフ生き残り」を左右している。この状況下では計量機組み込み型

操作盤のカラー化は給油客の支持を受けやすく、セルフ運営者の機器選ひはカラー液晶になたれ現象となつて現れた。

新日石の指定POSはERIX-POSで、Windows 2000仕様。SS-POSは以降、Windows XPとリナックスに向かうが、同社は新POS開発のタイミング上から2000が現行機。

カラー液晶・動画はXPやリナックスが必要だが、指定POSメーカー四社中で唯一、シャープが新日石系セルフへ計量機に自動釣り銭機も組み込んだカラー操作盤を提供してきた。このため最近新日石系セルフで、同社シェアが断トツとなつていた。今後はコモタの追加指定で系列SSSには、セルフ機器選定時の選択肢が増えた。

ERIX-Delightの主な特徴は、①明るく見やすいカラー液晶 ②ERIXの基本性能を維持しながら処理スピードをアップ ③二重ロック採用など安心の防犯設計 ④二十四時間三百六十五日迅速対応するサポート体制構築など。